



9月9日（水曜日）米寿・白寿を代表して
寺西さん（栗田2丁目）に花束などを届ける
栗市長

ごあいさつ

平成 27 年 10 月 5 日

10月を迎え、市役所のクールビズも終了いたしました。夏場にはあまりしなかったネクタイをすると気分も引き締まります。

ご存知のように10月1日は国勢調査の基準日であり、それぞれのお宅へ調査員の方が訪問されています。今回からインターネット回答もできますが、それをされなかった世帯は調査票の提出をしていただくことになります。国勢調査のデータは今後の生活に反映されていくことになりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

5年前、平成22年の国勢調査はご存知のように、人口が5万人達成することにより野々市が町から市へとなる大きな条件を得るため、町全体が大変盛り上がりしました。皆様のご協力やご理解のおかげで翌年2月の総務省統計局からの人口速報集計結果は51,885人となり、市政施行へ大きな一歩を踏み出すことができました。

現在も野々市市の人口は増加しております。多くの商業施設や医療施設が立ち並び、交通の利便性があることに加え、土地区画整理事業の進展により、良好・良質な住宅地が提供できることにあります。安心安全という観点からも道路や幹線のネットワークづくりもしっかりしていきたいと思えます。今後の予定としては、県立大学周辺の中林地区と堀内から田尻、蓮花寺の西部中央地区、このふたつの地区の整備を予定しており、土地区画整理事業にむけての組合の設立が事業許可をうけてできるのではないかと状況にあります。

区画整理が進むと市全体の「緑」の部分への心配が出てくるかと思えます。これについては「野々市市緑の基本計画」で、まちづくりの中で緑地の保全と緑化推進を計画的に、市民協働による緑のまちづくりを進め「誰もがあこがれ、誰もが住みたくなる野々市を目指して」となることを考え、策定いたしました。

植物から得るエネルギーは、人からいただくそれとはまた別のものがあります。私自身も、けして十分世話ができてはいえませんが、プランターで花や野菜を育てています。当然のことながら、市花木の椿の小さな苗木をいただくことも多く、夏場の水やりや、植え替えなどに時間をかけています。そこに緑があるだけで、なんとなく爽やか気持ちにさせていただける経験は皆さんがお持ちかと思えます。ぜひ、緑あふれる野々市の実現にもご協力のほどよろしくお願いいたします。

さて、ときは実りの秋を迎えました。毎年この時期になると、週末は市内のいたるところから「まつり」へのお招きをいただきます。光栄にも獅子頭を持たせていただくこともあります。今年は、地元の本町地区の一員として参加する予定です。いつも笑顔があふれる元気なまち野々市であってほしい、そう願うばかりです。